

整備効果

交通混雑の緩和 暮らしの快適性が向上します。

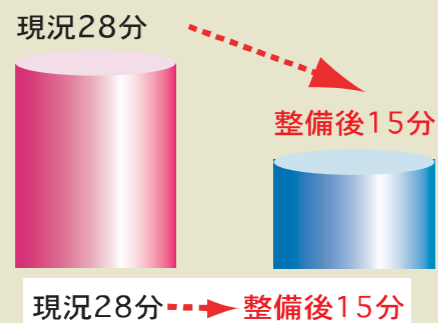
小禄道路の整備により、小禄バイパス（国道331号）では、旅行速度が現状から約23km/h向上（約2倍向上）することが見込まれ、交通混雑の緩和が期待されます。交通混雑の緩和により、通勤・通学・買い物等の日常的な移動の円滑化が図られ、暮らしの快適性が向上することが期待されます。



国道331号沿道に立地する商業施設

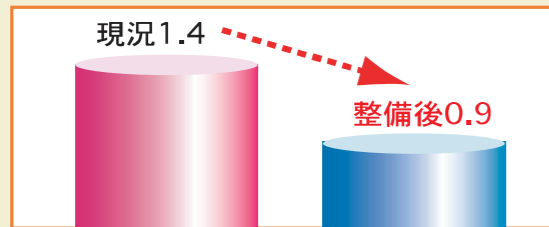
効果1 定時性・速達性の確保

小禄道路の整備により、那覇空港から沖縄自動車道（西原JCT）までの高速ネットワークが形成され、沖縄県の玄関口である那覇空港への定時性・速達性が向上。



効果2 小禄地区の交通量の確保

小禄道路の整備により、国道331号小禄地区における交通容量を確保。



【国道331号 那覇市具志地先における混雑度】

効果4 那覇中心部における通過交通の削減

沖縄自動車道、南風原道路、豊見城東道路等と一体となって環状道路を形成することにより、本島中北部から南部間の通過交通が転換。

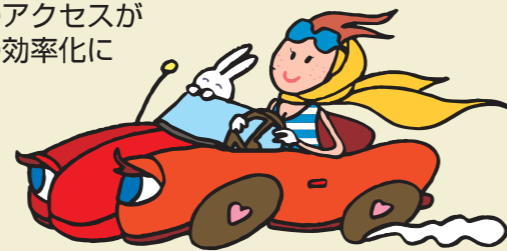
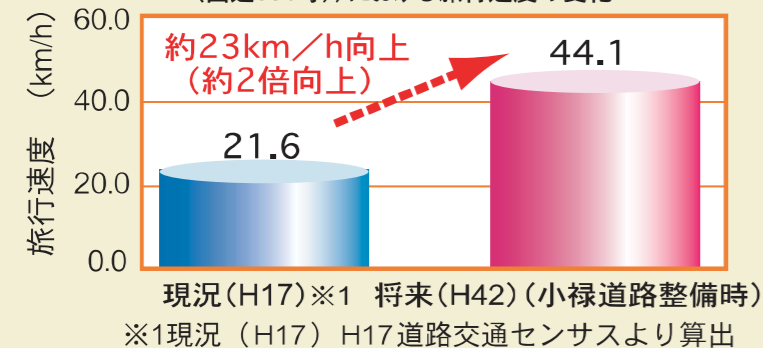


【那覇中心部を通過する交通の割合】

現況69% → 整備後28%

効果3 旅行速度の変化

小禄バイパス（小禄道路並行区間（国道331号））における旅行速度の変化



小禄道路

高規格幹線道路 那覇空港自動車道



内閣府沖縄総合事務局
南部国道事務所

〒900-0001 那覇市港町2-8-14
TEL : 098-861-2336
<http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/>



内閣府沖縄総合事務局
南部国道事務所



一般国道506号

小禄道路

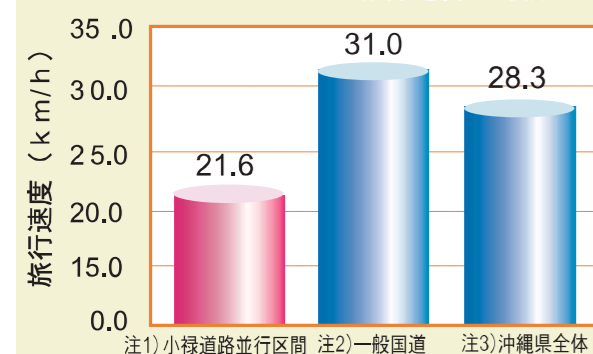
交通渋滞緩和と那覇空港へのアクセス向上による 快適な都市交通をめざして

対象地域の現況

交通混雑 国道331号は渋滞が著しい区間です。

国道331号は、那覇都市圏と沖縄県南部地域を結ぶ唯一の直轄国道です。小禄道路の現道部にあたる小禄バイパス(国道331号)は4車線道路の構造となっているものの那覇都市圏に向かう交通が集中することもあり、渋滞の著しい区間となっています。

旅行速度の変化



旅行速度の比較

国道331号は、渋滞が著しい区間であるため、旅行速度が直轄国道平均より約9km/h、低い状況。

注1) 小禄道路並行区間：航空自衛隊内フォトモニター参照
 注2) 一般国道(直轄)：沖縄県内のH17道路交通センサス区間における直轄国道
 注3) 沖縄県全体：沖縄県内のH17道路交通センサス区間における全道路



① 国道331号安次嶺交差点付近



② 国道331号赤嶺交差点付近



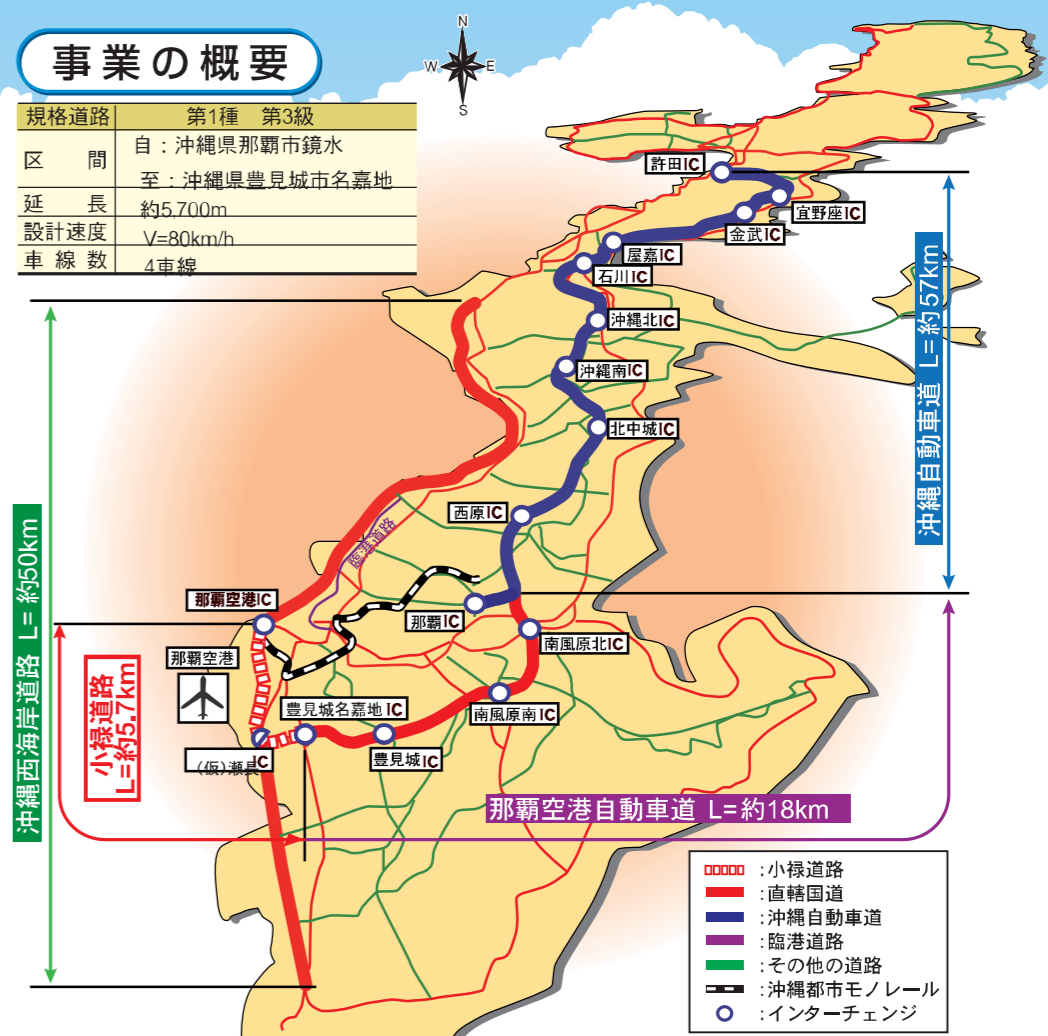
H23 渋滞の状況(那覇都市圏)

高規格幹線道路 那覇空港自動車道

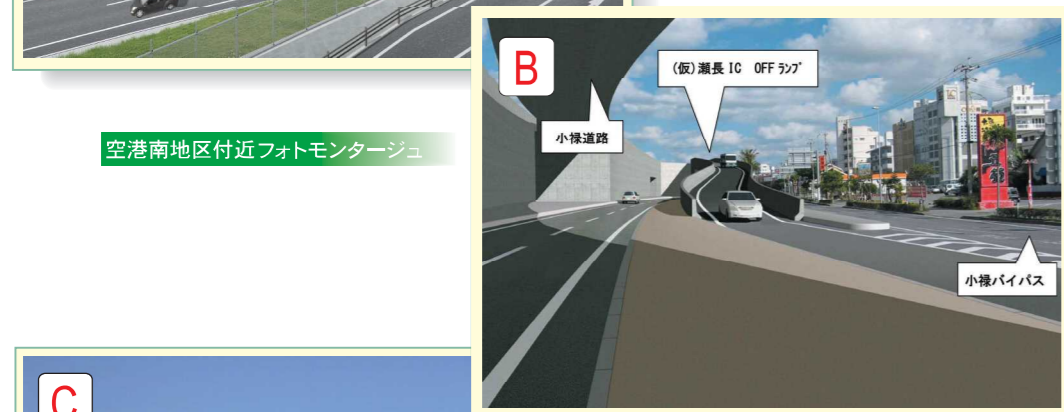
高規格幹線道路網を形成する那覇空港自動車道は、沖縄県最大の広域交通拠点である那覇空港と沖縄自動車道を結ぶ、一般国道の自動車専用道路として昭和62年6月に指定されました。那覇空港と県内各拠点を結ぶ連結機能や交通の集中が著しい那覇都市圏を迂回する環状道路としての機能を有し、沖縄県の経済活性化、観光支援、高速性、定時性の確保などに大きく寄与するものです。

事業の概要

規格道路	第1種 第3級
区間	自：沖縄県那覇市鏡水 至：沖縄県豊見城市名嘉地
延長	約5.700m
設計速度	V=80km/h
車線数	4車線



航空自衛隊内フォトモニター



空港南地区付近フォトモニター



瀬長～名嘉地間
フォトモニター

小禄道路(L=約5.7km)

